

地域精神医療誌・フレンドシップ
企画編集:NOVA出版

ハピネス 城西

フレンドシップインタビュー

求められるストレスへの対処と家族の協力

佐藤光源

VOL. 5 2006

第4回公開講座

シンポジウム 認知症について

平成18年3月11日(土)に城西病院第4回公開講座が以下の通り開催されました。

第1部 「認知症について」 14:00～15:40

- 認知症について
医師 小谷雄二
- 認知症の分類と症状
医師 松原 正
- 呆けない生活習慣
医師 井上和俊

質疑応答

- 「認知症の対応について～寸劇～」
医師 生田健一、他看護師
- 「楽しく予防 頭の体操」
作業療法士

休憩



第2部 「音楽療法」 15:50～16:30

～楽しみながら身体機能と脳を活性化しましょう～

津山裕子先生、大戸井啓子先生(徳島文理大学)



第1部では医師より、認知症の概論やその分類および症状について、図を用いての説明がありました。また、呆けないための「お勧め生活習慣」などを、具体例で示してもらえました。

寸劇では良い例と悪い例が演じられとても比較しやすかったと思います。客席から笑いもたくさん起こっていました。

第2部では、前半は参加者が舞台に上がり、一緒に音楽療法を体験することができました。更に後半では美しい歌声に癒されつつ、公開講座が終了となりました。

来年度も公開講座を開催する予定です！ 皆さんぜひご参加ください。

ハピネス城西 あなたが主役



3 A病棟は男女混合の閉鎖病棟で、平均年齢は70歳前後と高齢の方が治療されています。車椅子で生活されている方もいらっしゃいます。しかし、生活する能力が低下しないように、できるだけ患者様ご自身の力で生活されることを願いながら看護にあたっています。寝たきりにならないように、また、楽しみを見出せるように、毎日音楽を流しながら歩く時間を作ったり、音楽療法や個別作業療法を取り入れています。

スタッフ一同、笑顔を忘れず、明るい病棟を目指しています。これからも病院全部署の協力を得ながら、更に地域の様々な社会資源を活用しながら、工夫していきたいと思っています。（病棟看護師長 森下絹代）

～城西病院 スタッフ紹介～

給食室では、入院生活を豊かにする安全で美味しい食事の提供を理念とし、医師の指示に基づいて患者様それぞれの病態に合った治療食を提供し、入院中の患者様が一日も早く治癒・回復されることを食事面からサポートしています。

特に、食事を作るにあたっては衛生管理に十分に注意し、安全性にも配慮しています。また、入院生活の中で少しでも楽しみになっていただければと、選択食や季節の行事食、お誕生日食を実施しています（写真は一例です）。その他、食を通じて生活習慣を改善していただくために、入院・外来患者様を対象に『糖尿病教室』や『肥満教室』、個別栄養指導を行っています。

（給食室室長 藤田恵子）



お誕生日食



お花見弁当